何なあ、体人でいる眼はないで、さっそくお前さんにこじきとしての生き方を孝文えてやろう。覚言語はできているか?」こじきがそう言うとこじき虫になったは「かりのみの虫はない。、覚語はできています。健は自分を変える為にこじき虫になったのですからで指導よろしくお原真いします。こかの虫は真剣な顔をしながら言いました。よし。とその意気だとお前さんが立派なこじき虫になるまで、よっちりきたえてやるでと、こじきも真剣な彦魚をしながら言いました。

17,「さあ、休んでいる時間はないぞ。早速お前さんにこじきとしての生き方を、教えてやろう!覚悟はできているか?」こじきがそう言うと、"こじき虫見習い"になったばかりのみの虫は、「はいっ!覚悟はできています。僕は、自分を変えるために此処に来たのですから、ご指導よろしくお願い致します!」みの虫は、真剣に言いました。「よっ!その意気だ!お前さんが立派な"こじき虫"になるまでみっちり鍛えてやるぞ!」こじきも真剣に言いました。



